



海外招聘特別企画レポート ♪

## ブリティッシュコロンビア大学 特別栄誉教員 キャロリン・キャンフィールド先生 講演会・研究会



### 演者紹介

**Ms. Carolyn Canfield**: Department of Family Practice, The University of British Columbia

キャロリン・キャンフィールド先生は、レジリエンス・エンジニアリングの観点から医療への患者参加を推進すべく、教育活動に尽力されています。このたび、欧米、欧州をはじめとする世界各地からの招聘で多忙な中、本院の招きにより初来日され、大阪大学の他、医療の質・安全学会学術集会等、全国各地の講演会・研究会に登壇されました。本号では当院でのハイライトを紹介します。

## 拡大リスクマネジャー会議（11月24日開催）講演エッセンス

### Relationship-based Healthcare for Better Safety and Quality 患者-医療者関係に根ざした安全で質の高い医療の実現

#### ・医療は患者と医療者との共同作業

「患者の世界」と「医療の世界」の行き違いや衝突を回避し、治療をスムーズに進めるには両者が「同じ船」にのり、**共に目的地に向かおうとする意識が重要!**

#### ・患者との対話のきっかけはオープンエンドな「質問」から

- 何かお困りのことはありませんか？
- ご自身で今やりたいことは何ですか？
- 何かお手伝いできることはありますか？



参加者アンケートより

“対等”な立場で互いを尊重し合うことで信頼関係が築けるんだね!

### 薬剤部・中央クオリティマネジメント部合同勉強会

木下徳康 薬剤師の案内で入院調剤室を見学した後、薬剤部オンコロジーセンター室長 村地 康 薬剤師に、阪大病院薬剤部の概要、チーム医療における薬剤師の実践や安全に対する取り組みについてご講演いただきました。

総合討議では、国内外で社会問題となっている「ポリファーマシー」が話題となり、患者が主体的に薬剤管理に関与するための先進的な知見やアイデアの共有について、活発に意見交換しました。

キャンフィールド先生は、オンコロジーセンター、消化器外科病棟、血液浄化部も訪問されました。ご案内や説明にご協力いただいた各部署の皆様、ありがとうございました。